

4AT-J 臨床共有メモ

記入用 / 公式の日本語版Ver 1.0を併用してください

4AT-Jの採点は公式原票に従い、本紙には内訳と臨床情報を転記します。合計点だけで診断・回復・リハビリ実施可否を決定しません。

患者氏名・ID： 評価者・職種：

評価日時： 年 月 日 時 分 場所：

01 普段との違いを確認する

普段の会話・認知・覚醒・生活動作と、今回変わったこと

いつから変化したか／直近24時間の変動／情報源と確認時刻

02 点数と、解釈に必要な条件を残す

覚醒度	AMT4	注意力	急な変化・変動	合計
点	点	点	点	/12点

回答・観察事実／失語・難聴・補聴器／実施困難の理由／情報未確認の項目

03 共有と、その後の対応

連絡日時・相手／伝えた内容／受けた指示／リハビリ・ケアの調整

次回の観察・再評価の予定／担当者：

4AT-J 臨床共有メモ

記入例と運用の確認 / 以下は架空例です

記入例 「昨日と違う」を、内訳とともに伝える

評価：10月23日14時。覚醒は良好。AMT4は2項目誤り、逆唱は3文字以上誤り。昨日は会話が続いたが、今日は応答が途切れる。病棟看護師から、昨夜以降の新しい混乱を確認。普段からの失語症はない。

覚醒度	AMT4	注意力	急な変化・変動	合計
0点	2点	2点	4点	8点

共有例：「14時の4AT-Jは8点、内訳は0・2・2・4です。昨夜から新しい混乱があり、本日も応答が途切れます。普段との違いを看護師に確認しました。原因と全身状態の評価をお願いしたく、通常の歩行練習はいったん保留しています。」

点数の読み方

点数	位置づけ
4点以上	せん妄の可能性。診断は全体像を踏まえて行う。
1〜3点	認知機能障害の可能性。急な変化は別に確認する。
0点	完全な除外ではない。情報不足や変動があれば追加確認する。

運用時に確認すること

- ・日本語版のAMT4は、年齢・生年月日・場所・今日の日付。英語版と混ぜない。
- ・日本語版の注意課題は「セカイチズ」の逆唱。採点の詳細は原票を確認する。
- ・急性変化は、2週間以内に生じ、かつ直近24時間にも残る変化・変動を確認する。
- ・実施困難の理由、情報が未確認であること、普段からの失語・認知障害を記録する。
- ・急な強い意識低下や新しい神経症状などがあれば、採点完了を待たず急変対応へ。
- ・再評価では同じ版を使い、時刻・条件・項目別の変化を記録する。

資料・出典

公式原票：<https://www.the4at.com/4at-japanese>

日本語版検証：Hasegawa T, et al. Asian J Psychiatr. 2022;67:102918.

運用の参照：NICE CG103（2023年更新）／4AT user guide.

4AT © 2011–2014 Alasdair MacLullich, Tracy Ryan and Helen Cash. CC BY 4.0.

日本語版Ver 1.0を参照して独自の共有欄・臨床例を追加した補助資料です。公式評価用紙の代替ではなく、開発者の監修・推奨を意味しません。